

クローバーの笑・和・輪 2022.11.15 町民センターにて

◎おたがいの活動を知ろう

「ほほえみの会」

- 富士見ヶ丘 1 丁目で行われている助け合いの活動グループ
ごみ捨てや掃除などの生活支援、送迎サービスなど
- 自分たちの地域用のバス時刻表作成
- 児童館の庭に移動式スーパー（とくし丸）やお豆腐屋さんを呼び、予定日カレンダー作成
- みんなが気軽に集える場作り
- 買い物ツアー
- ベンチ作成 など
→「こんなのがあったらいいな」を形にする
→その情報を出すことで新たなつながりが生まれている

「松根おやじの会」

- 平成 26 年発足
- 月 2 回夜のパトロール+飲み会
- 地域のため、自分たちのため（介護予防）
- 課題は「新しい若い人たちとどうつながるか」

「フードドライブ、フードバンク」

- フードロスにつながる

「通いの場」

- プログラムが決められていて、参加者同士の交流が生まれにくいという課題がある

「町内会役員」

「小学生の朝の旗振り」

「地域向けのミカン狩りの会」

「民生委員を支えるチーム」

- これまでの課題「民生委員を引き受けても十分な引継ぎが出来る体制がなく、不安」
- 経験者が新しい民生委員を支える仕組みをつくろう→経験者が支えるチーム
- チームリーダーは現役の民生委員

- 定例会は2ヶ月に1回程度
 - 地域ケア会議のような定例会を行い、現役民生委員が抱える課題を経験者が一緒に考える
 - 連絡はグループラインを活用
 - 後継者選びのため、現役、経験者にかかわらず、民生委員活動に関心、興味のある人もチームに誘う予定
- 地域を支える人が循環できるシステムをつくりたい

○みなさんの活動報告を聞いての感想

- このような活動があることを改めて知った
- 集まる場があることが大事だと思う
(富士見ヶ丘2丁目は集まる場所が老朽化し、地域の人たちのコミュニケーションの機会が減った。集会場があることの大切さを感じている)

○次回への宿題

- 「たんぼぼささえたい」の活動を広めるためにはどうしたらいいと思いますか？
- こんな地域になったらいいな？を考える

次回開催 2023.2.14 (火)